

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 137	<b>提案機関名</b> 神奈川県環境農政局水・緑部森林再生課
<b>要望問題名</b> 花粉症対策苗木の生産技術について	
<p><b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】</p> <p>近年、造林面積の大幅な減少に伴い苗木需要量も減少しており、苗木生産者にとって非常に厳しい状況が続いている。しかし、「かながわ森林再生50年構想」では50年間で針葉樹約1,700万本、広葉樹約270万本の植栽が計画されており、優良苗木の供給体制の維持が必要不可欠となっている。</p> <p>このような状況の中、自然環境保全センターが開発した無花粉スギ苗木は、究極の花粉症対策品種として多くの需要が見込まれ、これらの生産技術を苗木生産者へ普及していくことは今後の苗木生産体制の維持に大きく貢献すると考えられる。</p> <p>本県では、無花粉スギについては平成20年から一部生産者が生産を開始し、平成22年春に初めて出荷が実施されたが、無花粉苗の出現率、無花粉の検定方法などの技術的な課題があると思われる。</p> <p>こうした技術解決を図るとともに、さらなる普及拡大を図るため、平成22年度から林業普及指導事業として無花粉スギ生産技術の現地適応化試験を開始したところであり、技術的な指導、研究の実施等の支援をお願いしたい。</p>	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究企画部研究連携課
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	花粉のないスギ・ヒノキプロジェクト、花粉症対策ヒノキ・スギ品種の普及拡大技術開発と雄性不稔品種開発		
<b>対応の内容等</b>	無花粉スギの実用化に関しては、花粉のないスギ・ヒノキプロジェクト研究により、閉鎖系採種園の整備、種子の供給等を進めています。しかし、無花粉スギの発現率等、実用化などの課題解決が必要で、平成22年度より「農林水産省の新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業」の公募資金を確保し「花粉症対策ヒノキ・スギ品種の普及拡大技術開発と雄性不稔品種開発」を実施中です。これらの研究成果は、林業普及指導事の現地適応化試験などへの協力などを通じて普及に務めます。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			